

第 55 回広島県美容技術競技大会

全日本競技種目

【洋装ブライダル競技】

この競技は、「サロンワークを駆使して、ブライダル現場で生きる上品で若々しいイメージの洋装花嫁をつくる」をコンセプトとし、ドレスの色(ドレスに付けられたアクセサリーを含む)挙式に相応しい範囲の白(ホワイト・オフホワイト・クリームは可、シルバー・ゴールドは不可)、ヘアスタイルはコンセプトに基づいたアップスタイルとする。

競技は、「メイク・ドレスフィッティング」の作業を監視委員立会いの下に控室で行い、「メイク・ヘアの仕上げ」の作業は、競技場にて行う。

*「メイク」の控室、競技場における作業配分は自由とする。

*モデルはいわゆるプロモデルでなく、美容師・大学生・専門学校生・会社員等とし、大会当日、美容師免許証・学生証・社員証(写しでも可)等を、監視委員に提示させる。

【出場資格】

広島県美容業生活衛生同業組合会員もしくは従事者で、美容免許取得者。

競技時間

- (1)メイク・・・30分(控室) ドレスフィッティング・・・10分(控室)
- (2)メイク、ヘアの仕上げ・・・30分(競技場)

競技に関する制限及び禁止事項

(違反した場合は、減点もしくは失格となる)

[禁止事項]

- ① 競技中、選手同士又はモデル・観客と会話等をしてはならない。
- ② 競技中、用具の貸し借りをしてはならない。
- ③ 競技中、他の選手に迷惑をかけるような言動、及び監視委員の指示に従わない等の行為は、退場を命じることがある。
- ④ モデルは競技中はもとより、控室にあっても選手の手助けをしてはならない。
- ⑤ モデルのタトゥー(絵)及びアートメイクは禁止する。
- ⑥ ベール・ブーケ・手袋は禁止する。
- ⑦ モデルは競技開始前に、デコルテ・顔の化粧(パック・化粧水を含む)がしてあってはならない。
- ⑧ モデルは競技中はもとより、控室にあっても化粧施術を禁止する。(アイテープ・つけまつ毛を使用する場合は、選手が控室及び競技場の競技時間内(各30分)につけると。)
- ⑨ 助手の使用は一切認めない。(ただし、競技用具の搬出入のために、係員の指示に従い助手を指定した場所まで立ち入らせることはさしつかえない。)
- ⑩ 競技終了後、選手はモデルに一切触れてはならない。
- ⑪ 審査中、指示された方向を向き、座ってポーズをとらなくてはいけない。[資料図参照]
- ⑫ モデルの髪はブロッキングしていないダウンスタイルで競技場に入り、その状態から始めなければならない。

〔制限事項〕

- ① 選手の服装は、競技に相応しいものとし、上衣は白いもの（色、柄は禁止）、下は黒又は濃紺のスカート又はスラックスとする（ミニスカートは禁止）。靴は、ヒールの低いものとする。
- ② モデルは美容組合から提供されるケープを着用のこと。
- ③ モデルのケープは、「メイク、ヘアの仕上げ」の時間内（30分）で取らなければならない。
- ④ ドレスのトレーンは、競技スペースから出てはならない。
- ⑤ ヘアピースの使用は禁止する。
- ⑥ ヘアアクセサリ及びティアラを着ける場合は、競技場で競技時間内（30分）で着けなければならない。
- ⑦ イヤリング、ネックレス等は、事前に着けてあってもかまわない。（ただし、競技場で着ける場合は、競技時間内（30分）で着けなければならない。）
- ⑧ “ネオン”カラーを除き、カラーの選定は自由である。ただし、極端なものではなく、営業の範囲にとどまるものでなければならない。

〔準備事項〕

オリジナルセットは事前に作り、ヘアのドライングが完了されている状態で会場入りしなければならない。

【その他の注意事項】

- ① 競技に必要なすべての用具の使用を認める。
- ② 控室及び競技場で電源の使用は禁止する。
- ③ 控室での用具(敷物を含む)は、隣の選手の邪魔とならないよう、自分のスペース内できちんと整理されていなければならない。(控室には机とイスが用意される。)
- ④ 競技場での用具は、全てケースに入れてモデルのひざの上に置かなければならない。(競技場には机は無くイスのみが用意される。)

【競技用具の準備(選手が準備するもの)】

- (a) ウェディング・ドレス一式 (b) ヘア用具一式 (c) 化粧用具一式 (d) 卓上鏡
- (e) 必要な小物類 (f) 敷物(控室でドレス着用時に床に敷く物)
- (g) ケース(競技場で使用する用具を入れるもの)

審査時のポーズ(椅子に座った状態)

